

平成 25 年 10 月 1 日

平成 25 年度地球環境基金助成事業

## ちば里山カレッジ実施報告書 (2)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	第 2 回 フィールド研修 (バスツアー) 「ちばの里山は今！」 ちばの里山の現状、里山活動状況等を実際に観察体験する
日時	平成 25 年 9 月 28 日 (土) 8:40~17:30
場所	下記の里山活動団体のフィールド ①椎の森里山会 (袖ヶ浦市) ②いちほら里山クラブ (市原市) ③きさらづ里山の会 (木更津市) ④ちば森林資源コンサーブ (君津市)
出席者	受講生 33 名 (欠席 5 名)・講師 1 名・主催者 3 名・スタッフ 1 名 各フィールドのアシスタント
内容	・ 8:50 ちば里山センターを出発 車内で、訪問先のメンバーによる活動状況の紹介があった。 フィールドでは 3 班に分かれて案内のアシスタントにより説明を受けながら現地を歩いた。 それぞれのフィールドの様子や活動内容などについて質疑応答があり、それぞれの特徴などを把握した。
備考	フィールドでの実地体験のあと、車内で福島講師による、各森林の構成や木の様子などについての気づき方・手入れ方法・問題点などのレクチャーがあった。
その他 振り返り シートより 抜粋	良かったこと ○1 日で全く違うタイプの里山活動を見ることができてよかった。 ○4 者 4 様の良さがわかった。 ○福島講師による各団体の各団体の批評は流石だった。いろいろな見方があることは勉強になった。 ○クロモジ茶が美味しかった。  ちょっと残念だったこと ○駆け足的研修? (しょうがないかなー) もう少しじっくり話が聞きたかった。 ○1ヶ所での滞在時間が短かった。物足りない感じだった。  こうだったらいいのにな ○各班で観察体験を話し合う場があったらいいと思う。 ○午前・午後に各 1ヶ所ぐらいが良かったのでは? ○そこの活動に関わった人々と触れ合いがあったらよかった。 ○参加者なぜ参加したのか等話し合う機会があると良い。

添付資料（写真）

① 椎の森里山会



椎の森（袖ヶ浦市役所環境管理課の方・椎の森里山会の方々）



椎の森工業団地に隣接している



写真の展示

② いちはら里山クラブ



いちはら里山クラブの広場にて



頂上を目指す（炭やき窯跡・黒文字・きのこ等あり）



湧水が多い。

③ きさらづ里山の会



きさらづ里山の会の拠点



バイオトイレの制作に取り組んでいる



山を登ってバス乗り場へ

④ ちば森林資源コンサーブ



ちば森林資源コンサーブ  
立ち枯れ材や間伐材などの有効利用を模索中との事



枝打ちしてある杉木立



会員が作った橋